セクマイ医療

公益社団法人日本女医会様

女性の健康支援事業委員会online講演会

『LGBTQ×医療』

「多様な性の相談窓口」に寄せられる困りごとと今日的課題

VISION！～for Transgender

自己紹介　岩井紀穂（Kazuho Iwai）

埼玉県草加市生まれ（1970.11.18）５3歳。
埼玉県立春日部女子高校、東京家政学院大学人文学部卒業。
『共生ネット』講師・『VISION!～for Transgender』代表
『草加市LGBTQ+』代表・『Marriage For All Japan』訴訟応援チーム

出生時に割り当てられた性別は「女性」だったが、幼少期から自らの性別に違和感を感じ、2024年1月15日にさいたま家裁越谷支部より審判がおり、戸籍の性別「男性」を取り戻した（閉経理由のオペなし性別変更）。

2019年「パートナーシップ制度」導入を求め、埼玉県全域に向けた活動を行う（レインボーさいたまの会・元共同代表）。

現在は、自らの経験に基づき、LGBTQ+（特にトランスジェンダー）と医療機関の課題解決の活動（VISION！～for Transgender)を行っている。

今年度からは、草加の地を中心とした広域のLGBTQ+コミュニティ『スカイツリーライン LGBTQ FRIENDS』を結成。LGBTQ+当事者だけでなく、「～らしさ」に苦しむ人・自分の性別に嫌悪感がある人・ジェンダーについて学びたい人など誰でも来れる交流会・勉強会・レインボー相談室を主催をしている。仕事は、相談員。幅広い年齢の人々の悩みに耳を傾けている。

＊写真は３歳の七五三「西城秀樹になりたい！」との願いがかなった時



VISION! for Transgender



性別違和って
どういうこと…？



トランスジェンダーとシスジェンダー

≪TRANSGENDER≫
出生時に割り当てられた性別と「自認」の性別（性同一性）が、一致していない人

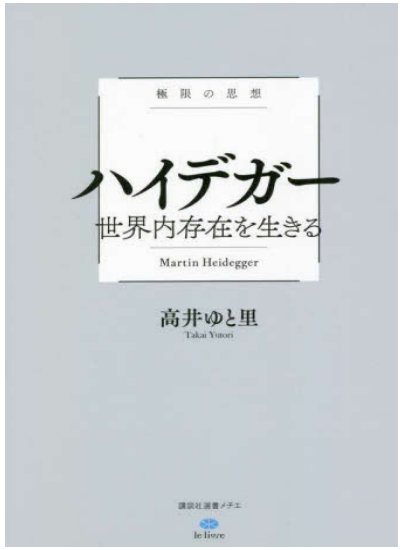
≪CISGENDER≫
出生時に割り当てられた性別と「自認」の性別（性同一性）が、一致している人

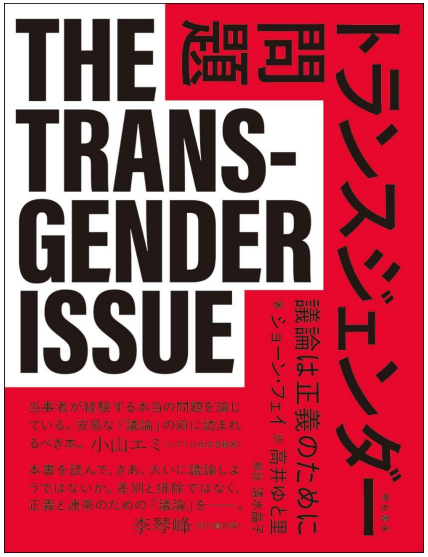
「心は女性」「心は男性」…という表現は、腑に落ちない

VISION! for Transgender

トランスジェンダーとは…？
この性別で、
「死ぬまで一生、生きなさい」
という課題を背負いきれなく
なった人達…

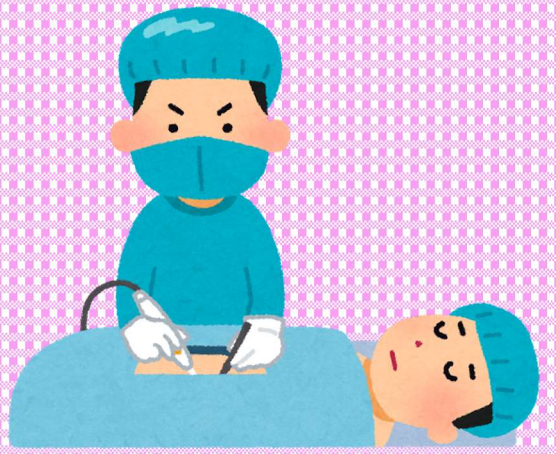
群馬大学
情報学部准教授
高井ゆと里さん
（哲学研究者）







『性別の変更やオペについて』





性同一性障害特例法（2003年７月10日成立）

※特定の要件を満たす者につき、家庭裁判所の審判により、法令上の性別の取り扱いと、戸籍上の性別記載を変更できる。

① 18歳以上であること
② 現に婚姻していないこと
③ 現に未成年の子がいないこと
④ ~~生殖腺がないこと、又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること~~
⑤ その体について他の性別に係る身体の性器に係る部分に近似する外観を備えていること

① ノルウェー・アイルランド・アルゼンチン・マルタでは、親の同意・医師の診断や裁判所の同意があれば、成年者年齢以下でも性別変更できる（書類のIDの変更のみ）。スウェーデンでは、一度性別を変更しても、また元にも戻れる。
② 同性婚になってしまうから
③ 2008年子がいないこと➡未成年の子がいないことに修正。身分登録の単位が個人である諸外国には「子なし要件」はない
④ 2014年　WHOなどは、不妊手術を法的性別変更の要件とすることを批判する共同声明を公表 スウェーデンでは、手術要件があった頃に法律に従ってオペした人に　賠償金を払っている

僕の性別移行

- 2019年　ジェンダークリニック受診
  2人の医師、そしてGID学会判定会議で『性同一性障害』と診断がおりる
- 2020年　山梨大学医学部付属病院にて「乳房除去手術」（７か月待ち）
  ※ホルモン療法をしていなかったため保険適用が可能に！
  約60万円の入院費＆オペ費用➡国民健康保険で３割に➡高額療養費制度の利用＋県民共済
  ＝＋１万円
- 2021年　「乳頭縮小術」保険適用外　10万円（美容整形外科）
- 2022年　ホルモン療法開始…声の低音化・骨格の変化・髭・外陰部の肥大化（矮小陰茎）・性欲アップ・ 精神面のアップダウン
- 2023年　「閉経理由のオペなし性別変更」さいたま家裁家事審判中
  診断書…婦人科2万円＋精神科3万円　家事審判代金…約3千円



二女 ➡ 二男



「正しい性別」を取り戻す感覚



どんなことが大変なの？

VISION! for Transgender

社会的スティグマ
負の連鎖をどうやって止めたら良いのか？

いじめ

偏見

不登校

ひきこもり

低学歴

就職困難

職場環境

精神疾患

発達障害

家族関係

貧困

諦め

自己肯定感の低下

性別変更の高いハードル

孤立・孤独

希死念慮

自殺未遂

自死

性的指向やジェンダーアイデンティティーは、自ら選んだものではない

誰にも話すことができない

LGBTQ+患者への配慮と対応のお願い

- LGBTQ+について正確な情報を知って下さい。
- 異性愛者だけではなく、LGBTQ+患者も想定していてください。
- 患者の希望すべてに応えようと思うのではなく、できる範囲でのサポートをお願いします。（あらかじめ、病院内で話し合っておくことも大切）
- 対応に迷った時は、ぜひ患者本人に聞いて下さい。
- 病院にレインボーのグッズを置いたり、身に着けたりしてLGBTQ+フレンドリーを表現してください。
- 法的に結びつきがないために、パートナーとして家族として扱ってもらえないことがあります。面会・看病・様態の説明・手術の同意・看取りなど、柔軟に相談にのって下さい。
- 相談機関につないでください

VISION! for Transgender



LGBTQ+へのフレンドリー医療とは…？

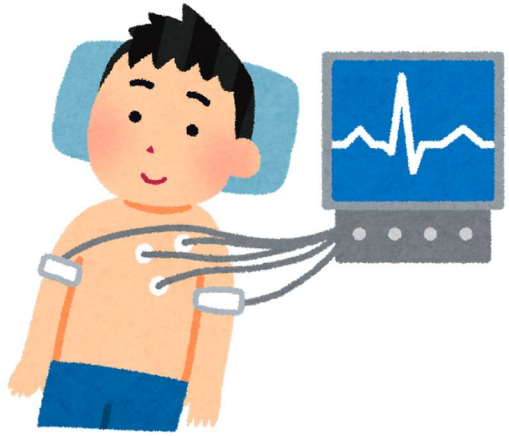
VISION! for Transgender

健康診断が受けにくい

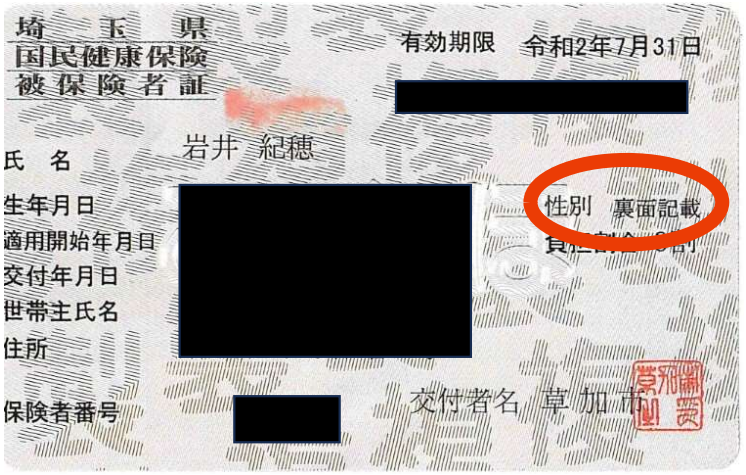


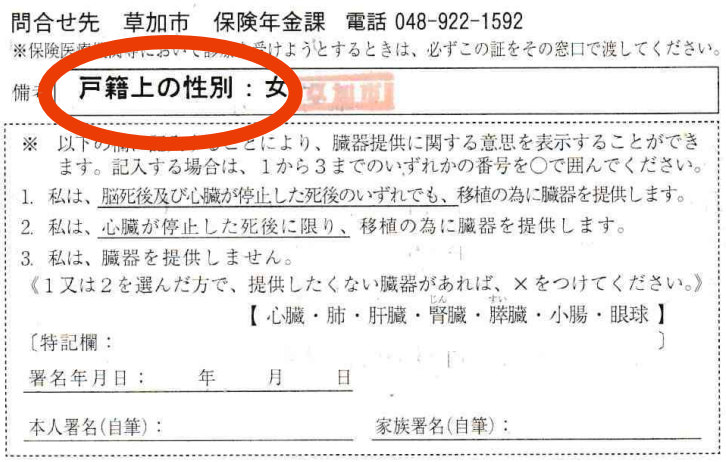


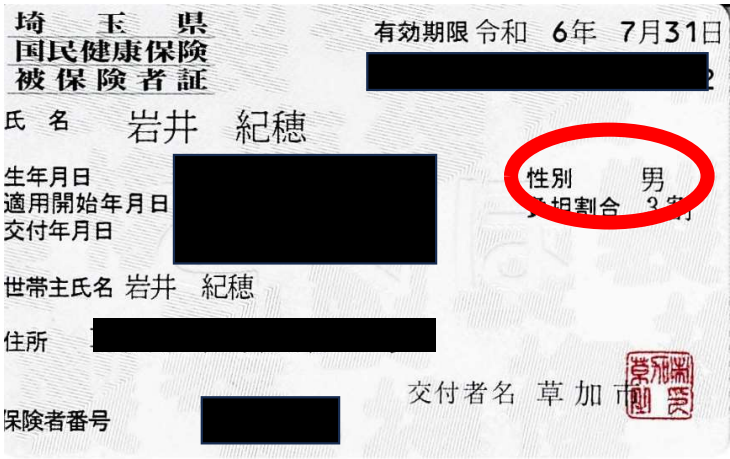




受付・保険証の提示



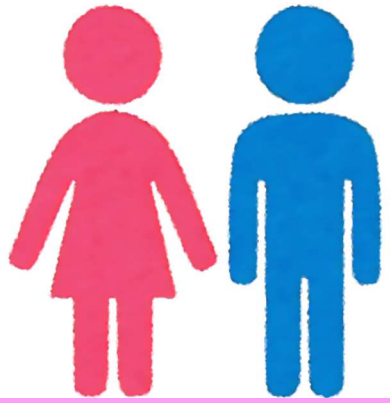




VISION! for Transgender

問診票の性別欄

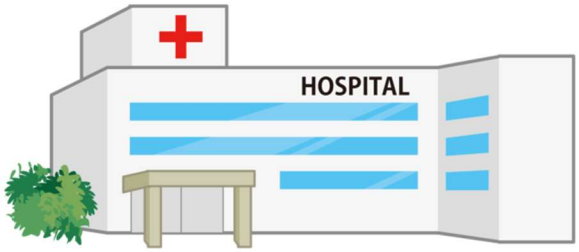
『女・男・(自由表記)』にできないか…？



※どちらにも丸をつけにくい人がいる
自由表記が、質の高い診察に繋がるかも知れない

VISION! for Transgender

受診する「科」による問題



※性別に添って診察が進む科は、同性愛者やトランスジェンダーにとって受診しにくい現状があります。
受診時の待合室や検査方法の相談にのってもらえると安心して受診できます。

VISION! for Transgender

～内科～

- 一番受診する確率が多い科であるため、 病院やDr.が性的指向と性自認（SOGI）について、知識や理解があるか分からないと、受診がためらわれます。
- ぜひ、HPなどにLGBTQ+フレンドリーな病院であることを記載いただけると有難いです。





～婦人科～

- 検査方法の相談（レズビアン・トランスジェンダー男性）

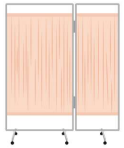
  膣からのエコー検査でなく肛門から行って欲しい！断られることが多い。

- ホルモン療法（トランスジェンダー女性、注射は断られることがある）

  錠剤での投薬⇒血栓ができやすい

- 院内の環境

よしの女性診療所（江古田）



トランスジェンダーに理解のある診療所。衝立で仕切られた待合室があり、他の女性患者さんと会わずに先生の診察だけ受けて来れる。

吉野一枝先生

女性医療クリニックLUNAグループ トランスジェンダー外来（横浜）



幅広い年齢層の患者が全国からくる婦人科。「あらゆるセクシュアリティ・ジェンダーに平等な医療を」をモットーにトランスジェンダーのヘルスケア・セクシュアルヘルスケアに特化した外来診察を行っている。

池袋　真先生

あるトランスジェンダー男性の婦人科受診

●下腹部痛。LGBTQ+理解者の総合内科医に「婦人科には行けない・断られる旨」を相談。

①CT検査を行い『子宮筋腫』であることが発覚。

②MRI検査にて、筋腫が悪性でないことが分かり筋腫の広がりの状態を確認できた。痛みに対しては、漢方薬で対処。

※LGBTQ+の状況に理解があり、知恵のあるDr.の存在が必要

あや総合内科クリニック（草加市）

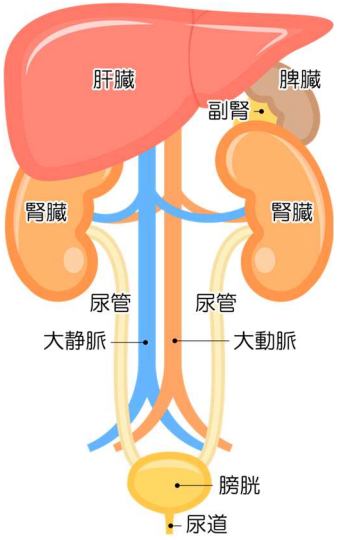
TG男性や一部のレズビアンの人は、膣からのエコー検査に抵抗がある！



VISION! for Transgender

～泌尿器科～

- HIVの診察で、理解がなく差別的な発言をされた。
- ゲイであることを言ったら「そんな不道徳な生き方は良くない」と怒られた！
- 性感染症になったが、感染源など本当のことが話せない。





～精神科～

●性別違和や同性愛の悩みが原因でうつなど精神疾患に罹患

「こちらでは対応できない、性別のことはよそで相談して」

日本にジェンダークリニックが少ない現状

正確なLGBTQ+の知識を持っている精神科医が少ない

➡回復に至らない。
病状が長期化する ➡ せめて、相談先だけでも紹介し繋いで欲しい！



「入院」

※トランスジェンダーの病室の問題や家族関係のないパートナーの入院に関しては、対応が病院ごとに異なり安心して医療に掛かることができない場合があります。



VISION! for Transgender

例　入院：トランスジェンダー男性（戸籍女性）

●数年前、都内大学病院に緊急搬送。救命病棟では男女混合の病室。容態が落ち着き一般病棟へ移る段に「○○さんは、戸籍の性別が”女“なので女性部屋になります」と言われた。
見た目は「男性」である。他の女性患者にも申し訳なく、安心して入院生活が送れないと判断し、自主退院した。



VISION! for Transgender

２０１８年３月５日付

厚生労働省：差額ベッド代なしのケース

1. 同意書による同意の確認を行っていない場合
2. 患者本人の「治療上の必要」により、特別療養環境室に入院させる場合。（病気が重篤・感染症に罹患する恐れがある等）
3. 病棟管理の必要性から、特別療養環境室に入院させた場合。実質的に患者の選択によらない場合

※戸籍の性別が未変更のトランスジェンダーは、しばしば個室への入院を勧められる場合が多いが、本人が希望しないのに個室への入院を強いられた場合、この通知により差額ベッド代は徴収されないと言える。

VISION! for Transgender

SOGI

順天堂医院SOGIへの取組み



SOGI相談窓口について

毎週、月曜日の午後
（13:30～16:30）
無料：どなたでもご利用できます。



レインボーバッジ研修（職員研修）の実施

2021年5月～2022年10月までで３００人が受講終了



レインボーフラッグを設置している総合受付

work with Pride **2022年2023年ゴールド受賞**

※2016年に日本初の職場におけるLGBTQ＋などのセクシュアル・マイノリティ（以下、LGBTQ＋）への取組みの評価指標。2022年は、842社の応募あり。

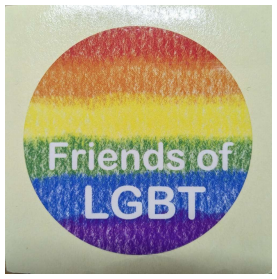
順天堂大学医学部附属
順天堂医院

VISION! for Transgender

VISION！～for Transgenderの活動







- LGBTQ+（特にトランスジェンダー）の医療についての啓発・講演活動
- 医療従事者・病院・薬局へＬＧＢＴＱ＋フレンドリーバッジ・フレンドリーステッカー・対応ガイドの配布
- vision.transgender@gmail.com

※白衣にLGBTQ+ フレンドリーバッジを受付にステッカーを付けて下さる方を募集しています。
LGBTQ+フレンドリーDr.になってくださりそうなお医者さんのご紹介もお願い致します。

VISION!
for Transgender

Happy Born Project
お願い、助産師さん！！

セクシュアルマイノリティ当事者が、親や家族の理解が得られない現状。
誰のせいでもないのに、勘当・疎遠・不和になってしまう悲しさ。



◎産婦人科にて、プレママパパ学級での『性の多様性』のレクチャー
例）出生届の書き方の説明に際に性別について触れる
◎セクシュアルマイノリティのロールモデルの紹介
●現在、プロジェクトチーム結成中！
助産師さん・看護師さん・養護教諭・性教育に関する活動をしている人・市議など
●最終目標：母子手帳への『性の多様性』記載
◎草加市モデルを作り全国各地の助産師さんへ協力を要請していく展開

VISION! for Transgender

令和５年度草加市ふるさとまちづくり応援基金助成事業

《スカイツリーラインLGBTQ FRIENDS》



助成金は、総事業費の80％スカ。¥500以上のご寄付のお礼に、オリジナルクッキーを１枚差し上げるっスカ！

こんなことをやるっスカ！

- ●月１回の交流会（LGBTQ+当事者やそうかもと思う人＆ALLY…理解者
- ●「レインボーツリー相談室」
- ●LGBTQ+/SOGI初級中級勉強会
- ●LGBTQ+オンライン専門勉強会
- ●パネル展

HPから申し込んでくっれっスカ！！

https://lgbtqfriends.hp.peraichi.com



にじすかちゃん

VISION! for Transgender

『ミニ知識』

《レインボーフラッグ》



サンフランシスコのギルバート・ベーカー氏。1976年にデザインされ、1978年6月25日に開催された「サンフランシスコ・ゲイ・フリーダム・デイ・パレード」にて初めて公の場で使用されたとされています。

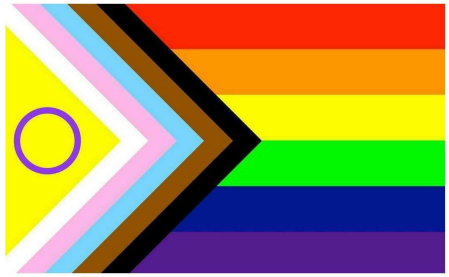
- レッド＝生命
- オレンジ＝癒し
- イエロー＝太陽
- グリーン＝自然
- ネイビー＝調和
- パープル＝精神

《トランスジェンダーフラッグ》



1999年にデザインされ、アメリカのアリゾナ州フェニックスで2000年に行われたプライド・パレードで初めて使用された。上下のストライプは、男の子の伝統的な色であるライトブルーです。その隣のストライプは、女の子の伝統的な色であるピンクです。真ん中のストライプは、ジェンダーの移行中の人たちや、自分自身をニュートラルまたは未定義の性別を持つと考えている人たちのための白です。

《プログレス・プライド・フラッグ》



LGBTQのインターセクショナルな多様性のシンボルとして世界的に用いられるようになっているのが、この「プログレス・プライド・フラッグ」です。6色のレインボーカラーに加え、山形袖章の部分に白、ピンク、水色のトランスジェンダーカラーと、茶色と黒の人種的マイノリティを表すカラーがあしらわれています。右に向いたは、進歩と運動の前進を表現するものです。それから黒にはHIV/エイズで亡くなった人の追悼の意味（やHIV陽性者、HIV/エイズへの偏見）も込められています。紫の丸と黄色地は、インターセックスの人のフラッグです。

参考になる書籍・DVDなど

≪書籍≫

- 『LGBT専門医が教える心・体そして老後』～わかさ出版　針間克己監修
- 『医療・看護スタッフのためのLGBTサポートブック』～メディカ出版　　藤井ひろみ・桂木祥子など編集・執筆
- 『セクシュアルマイノリティーQ&A』～弘文堂　LGBT支援法律家ネットワーク出版プロジェクト
- 『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』～日本能率協会マネジメントセンター
  東優子・虹色ダイバーシティ・ReBit　著
- 『トランスジェンダー入門』～集英社新書　周司あきら　高井ゆと里　共著
- 『トランスジェンダー問題～議論は正義のために』～明石書店　ショーン・フェイ著/高井ゆと里訳
- 『性的マイノリティのための診療空間のつくりかた』~株式会社金芳堂　井戸田一朗　著
- 『ピンクはおとこのこのいろ』～KADOKAWA　ロブ・パールマン文/イダ・カバン絵/ロバート・キャンベル訳
- 『いろいろいろんなかぞくのほん』～少年写真新聞社　メアリ・ホフマン文/ロス・アスクィス絵/すぎもとえみ訳

≪DVD≫

- 『医療現場における性の多様性』丸善出版　五十嵐ゆかり監修



≪参考資料・HP≫

- LGBT法連合会　困難リスト
- MARRIAGE FOR ALL JAPAN #結婚の自由をすべての人へ
- 虹色ダイバーシティ　調査・研究

お聞きいただき、ありがとうございました！



皆様のお力を貸して下さい!!

VISION! for Transgender